

てんかんのある人における新型コロナウイルス感染症に関する Q&A

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 5月1日

Q1. てんかんがあると新型コロナウイルス感染症にかかる可能性は高いのですか？

一般的には、てんかんのある人が新型コロナウイルス感染症にかかる可能性が高いというデータはありません。しかしながら、てんかんのある人は、ときに他の健康状態を合併することがあります。既に知られているリスク(高齢、糖尿病、慢性呼吸器疾患、がんなど)をお持ちの方は他の方よりリスクが高い可能性があります。

Q2. けいれん発作は新型コロナウイルス感染症の症状となる可能性がありますか？

他のウイルス感染症と同様に、なる可能性はありますが、コロナウイルス感染症で多いということは報告されておられません。発熱・せき・息苦しさ・息切れ・だるさ・においがわからない・味がわからない、などが一般的な症状です。

Q3. てんかんのある人が新型コロナウイルス感染症になると発作が増えますか？

新型コロナウイルス感染症とてんかんのある人の発作の増減の関係についての報告はありません。しかし、他のウイルス感染症と同様、少なからず発作への影響はあると思われれます。それはコロナウイルスが悪さをするというよりも、症状としての発熱により発作が起きやすくなると考えられるからです。その他にも、せきや息苦しさによる睡眠不足や、水分摂取不良、食べる量が減ることによる低血糖なども発作を増やす可能性があるため、感染してしまった場合には、これらのことが起こらないように注意することが重要です。

Q4. てんかんの薬は新型コロナウイルス感染症のリスクを高めませんか？

一般的にはてんかんの薬により、新型コロナウイルス感染症が増えるという報告はありません。むしろ、てんかんの薬を中断してしまうことによる発作増加のデメリットの方が大きいと考えられるので、てんかんの薬は継続して飲むようにしてください。

てんかんのある人の中には、病気のコントロールのために免疫機能を抑えるような薬もあります(結節性硬化症に対するエベロリムスや自己免疫性脳炎に対するステロイドなど)。これらを内服している人は、特に感染予防に注意してください。心配であれば、一度担当の医師に相談するのもよいかもしれません。自己判断で減量や中止は絶対に行わないでください。

外出自粛や在宅勤務などにより、いつものあなたの日常と異なるかもしれません。いつもと異なると、薬の内服を忘れがちです。定期内服を忘れないための工夫を以下に記すので参考にしてみてください。

- ・スマートフォン・携帯電話のアラーム機能やリマインダー機能を使う
- ・付箋を使用する
- ・薬カレンダー・ピルボックスを使用する
- ・薬を飲むときを覚えてもらえるよう、あるいは飲んだかどうかを確認してもらえるよう、家族や友達に願う
- ・チェックリストを使用する
- ・スマートフォンアプリや発作日記を使用する

Q5. てんかんの薬はどのように手に入れればよいですか？

病院やクリニックによっては、外来の時間や枠を変更していることもあります。電話やインターネットで一度確認してから受診することをお勧めします。また、遠隔医療や薬の配達システムがないか、を積極的に考慮してもよいかもしれません。その他にも、一回の処方量を増やしてもらって受診回数を減らしてもらうことを相談してもよいでしょう。

てんかんのある人における新型コロナウイルス感染症に関する Q&A

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 5月1日

Q6. てんかんのある人が新型コロナウイルス感染症になったらどうすればいいですか？

まずは、かかりつけのてんかん診療医に電話で相談してください。熱の管理などはてんかんがある人にとって重要です。対策についててんかん診療医に相談してください。

周りの人に移さないように心がける必要があります。マスクを着用し、必要がなければ外出を控え、人と会わないようにします。2週間は自宅待機をすることが必要です。また、上記のとおりてんかんの薬を決まった時間に決まった量を飲むことをお勧めします。てんかんの薬の入手方法については、担当の病院やクリニックと一度電話で相談し、病院へ行かずに済む方法があるかを確認してください。電話連絡せずに直接病院やクリニックに行くことは絶対にやめてください。

Q7. 新型コロナウイルス感染症ではないけれど、似たような症状があります。どうすればいいですか？

現在、日本では新型コロナウイルス感染症の検査は、限られた人にしか行っておりません。新型コロナウイルス感染症と似た症状がある場合は、新型コロナウイルス感染症になった場合と同様に行動してください(Q6.参照)。繰り返しになりますが、電話連絡せずに直接病院やクリニックに行くことは絶対にやめてください。

Q8. てんかんのある人は補助・介護が必要ですが、てんかんのある人か補助・介護する人のどちらかが新型コロナウイルス感染症、あるいは似た症状の場合どうすればいいですか？

てんかんのある人と部屋を別々にして下さい。飲食なども別々にすることをおすすめします。生活用品も別々にして下さい。共有スペースについては十分な換気を行うようにして下さい。カウンター、テーブルトップ、ドアノブ、バスルームの備品、トイレ、電話、キーボード、タブレット、ベッドサイドテーブルなど、よく触る場所を毎日掃除します。また、血液、便、または体液が付着している可能性のある場所もきれいにして下さい。

また、介護する人が症状がある場合、他の人に、てんかんのある人の補助や介護を頼んでみてもいいかもしれませんが、ヘルパーなどお願いできないか、検討してみるのもよいでしょう。どうしても自分で補助・介助しないといけない場合には、てんかんのある人に移さないように、マスクの着用や不要に密着しない、補助・介助の前後で手指消毒を行うなど、徹底するようにして下さい。

てんかんのある人が症状がある場合、その人の血液、便、または唾液、鼻汁、嘔吐物、尿などの体液に触れたり接触したりする場合は、使い捨てのマスクと手袋を着用して下さい。使用後は、マスクと手袋を捨て、再利用しない。その後、手指消毒を行ってください。

Q9. てんかんを持っていて、一人暮らしですがどうしたらいいですか？

定期的に、友達や家族などと連絡をとるようにして下さい。てんかんを起こしやすい人、コントロールが難しい人では、特にこれは重要なことです。安全確認や発作の有無の確認になるからです。

最後に：お願い

現在、東北大学を中心に「新型コロナウイルス感染症のてんかん発作への影響」に関するアンケート調査を行っております。ぜひともご協力お願いいたします。 → QRコードはこちら



参考にした資料・文献はこちら↓

